

水稻の持続的な営農を目指して

～雇用研修会を開催～

山武農業事務所改良普及課 令和7年7月2日発

東金市の水稻経営体は家族経営が主で、担い手の高齢化とそれに伴う若手生産者への急速な農地集積により、労力不足が問題となっています。そこで農業事務所では、東金市内の大規模経営体や規模拡大志向のある経営体を対象に、労力確保に向け雇用導入を考える機会として、6月26日に雇用研修会を開催しました。

研修会には、生産者及び関係機関の担当者計18名の参加があり、講師の社会保険労務士から、法定事項や社会保険といった雇用導入の準備に係る事項を中心に説明をいただきました。参加した生産者からは「雇用導入にあたり、やるべきことが多くあることがわかった。」等の感想が寄せられ、計画的な雇用導入の意識醸成につながりました。

農業事務所では、山武地域の水稻経営体の規模拡大や農業生産の維持・発展に対し、これからも様々な方法で支援に取り組んでいきます。



雇用研修会の様子